

# 施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (1)都市づくりの推進

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

## ■基本施策が目指す姿

市民が、魅力的な都市空間のもと、都市機能を効率的・効果的に利活用し、安全で快適に暮らしています。

## ■関連する分野別計画

亀山市都市マスタープラン、亀山市景観計画

## ■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	用途指定地域内の宅地面積	ha	674.9	H27	677.2					682.0
2	市街地再開発事業等が行われた件数	件	-	H28	0					2
3	公園等環境美化ボランティア活動団体数	団体	19	H28	19					24
4										
5										

## ■市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1	亀山駅とその周辺が整備されている	重要度 1.08			
		満足度 ▲ 0.87			
2	魅力的な市街地が形成されている	重要度 1.07			
		満足度 ▲ 1.01			
3	美しいまちなみや景観がつけられている	重要度 0.98			
		満足度 ▲ 0.33			
4	公園・広場・緑地が充実している	重要度 1.04			
		満足度 0.11			
5		重要度			
		満足度			

## ■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
<b>B</b>	<p>都市マスタープランの改定や地籍の明確化など計画的な都市づくりの推進、及び歴史的まちなみの維持・継承や若者定住促進など魅力的な都市の形成は、順調に推進を図ることができており、個別判定をともにAとしている。活力ある市街地の形成においては、亀山駅周辺の再開発事業で少し遅れはあるものの施策の推進は図れており、また、公園・緑地の整備及び利活用においては、活動団体の増加には至らなかったが、ボランティア制度を活用した団体等との協働により公園環境の美化など維持管理に取り組めたことから、個別判定をともにBとしている。基本施策に設定した3指標のうち、1指標において実績値の上昇がみられ、基本施策が目指す姿に向けて、各施策の推進により、ますます近づけることができていると考えられることから、総合判定をBとした。</p> <p style="text-align: center;">反省点・課題</p> <p>少し遅れのある亀山駅前周辺の再開発事業を進めるため、基本設計等を進めるとともに組合設立に向けた協議や支援の強化を図る必要がある。さらに、中心的都市拠点の求心力向上のための、新図書館の機能や周辺地域とのつながりなどの整合も図る必要がある。都市づくりにおいては、市庁舎やリア中央新幹線の駅位置など、核となる機能を意識する必要がある。公園等環境美化ボランティア団体については、指定管理者と連携し、継続的に参加団体を確保していく必要がある。</p>

## 今後の展開方針

計画的に亀山駅前周辺の再開発を進めるため、組合設立の支援を行うとともに、図書館を中心とした公共的機能を再開発事業の基本設計に反映していく。

都市マスタープランの改定においては、総合計画、立地適正化計画、景観計画などの各種計画や豊かな自然、歴史的まちなみの保存を踏まえた将来の都市づくりの方針を定める。

引き続き、土地利用の促進や大規模災害に備えるため、計画的に地籍の明確化を進める。

公園等環境美化ボランティア団体については、地域まちづくり協議会や事業所への働きかけにより、参加団体の増加に努める。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 計画的な都市づくりの推進						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A	活動	都市マスタープランの改定に向け、委員会等及び市民協議会の設置、市民アンケートなどを行った。また、都市機能や居住の適切な誘導のため、立地適正化計画を策定するとともに、都市形成や土地利用の動向等を踏まえた都市計画決定(変更)を行った。地籍の明確化を図り、土地利用の促進や大規模災害に備えるため、計画的に地籍調査を行った。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 都市マスタープラン改定に向けた検証及び市民の意向把握ができ、都市マスタープラン改定に向け推進できている。また、立地適正化計画の策定により、都市機能や居住の誘導によりコンパクト&ネットワークに向けた推進ができています。その他、地籍の明確化や都市計画決定(変更)などにより、計画的な都市づくりの推進が図られている。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17001	都市マスタープラン策定事業	主	4,998 / 4,328	A	A
	17002	地籍調査事業	主	4,148 / 4,068	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果
	立地適正化計画の策定				A	A

施策の方向② 活力ある市街地の形成						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	亀山駅周辺のにぎわいや活性化を図るため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携し、亀山駅周辺地区・2ブロック市街地再開発準備会設立の支援を行った。また、市道御幸8号線整備に必要な用地買収及び補償について概ね地権者の理解を得ることができた。 また、中心的都市拠点の強化を図るため、都市マスタープランの改定を進めた。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 亀山駅周辺整備事業の予算執行が遅れたが、庁内推進体制の強化、再開発事業準備会の設立、基本設計の着手や都市計画決定(変更)を行うなど、亀山駅周辺の再開発に向け進めることができています。また、図書館整備基本構想が策定されるなど、活力ある市街地の形成に向け促進が図れた。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17003	亀山駅周辺整備事業	主	187,216 / 72,203	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向③ 魅力的な都市の形成						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A	活動	歴史的なまちなみ保存整備のための修理修景事業や景観計画区域を定めた適切な景観形成に継続して取組めた。また、若者の定住促進のために、かめやまげんきっこフェスティバルなどの子育て支援の取組や創業セミナー、創業資金利子補給を進めるとともに、空き店舗等を活用した補助制度の創設に向け、亀山商工会議所などと協議を行った。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 文化財としての価値を後世に伝えるべく、計画どおりの修理修景事業を実施できた。また、市内産業団地への企業進出1社や市内での創業件数5件、創業資金利子補給制度申請1件があり、創業者の負担軽減等が図られるとともに、空き店舗等を活用した補助制度の創設により、魅力的な都市形成の推進が図れた。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17037	伝統的建造物群保存修理修景事業	主	31,000 / 30,774	A	A
	17062	創業等支援事業	主	1,814 / 1,375	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向④ 公園・緑地の整備及び利活用						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	西野公園の東屋・自転車駐輪場の改修工事を計画的に実施した。公園等環境美化ボランティア制度を、活用した団体等との協働による公園環境美化に努め、維持管理に取り組めた。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 公園・緑地の利活用については、子どもから高齢者までが、健康づくりや憩いの場等として、安心して利活用ができるよう、指定管理者による適正な公園管理が図られている。一方で、指定管理者と連携して環境美化ボランティアのPRを行ったが、高齢社会が進んでいる為か、活動団体の増加には至らなかった。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17005	西野公園改修事業(公園施設)	主	5,296 / 4,593	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果
	公園等環境美化ボランティア制度の推進				B	B